

社会資本総合整備計画社会資本整備総合交付金

令和05年09月27日

計画の名称	暮らし続けられるまちづくり整備計画（小田付地区）（第二期）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	喜多方市													
計画の目標	・重要伝統的建造物群保存地区である小田付地区において、地域住民や小田付まちづくり協議会等との連携により、小田付の歴史や文化、伝統を活かした安らぎと潤いのある町並み形成と沿道空間の整備により「暮らし続けられるまち」の実現を目指す ・沿道空間においては、地域住民や来訪者が楽しく安心して歩けるよう、道路美装化整備等の実施により、快適で回遊性の高い空間形成を目指す ・町並み形成においては、屋外広告物は正のための助成や建物等の修景を一体的に行うことで、小田付のまちなみ景観の向上を目指す													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		108	A	108	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R3末)	(R6末)
1	喜多方市伝統的建造物群保存地区保存条例に適合した建築物等の整備率			
	喜多方市伝統的建造物群保存地区保存条例に適合した建築物等の整備率 (整備実施率・%)＝(累積整備件数)／(喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区内の対象件数228件)	1%	3%	5%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	喜多方市	直接	喜多方市	－	－	街なみ環境整備事業（小 田付地区）	道路美装化整備等	喜多方市	■	■				93		－	
	A16-002	住宅	一般	喜多方市	間接	民間	－	－	街なみ環境整備事業（小 田付地区）	屋外広告物は正支援事業	喜多方市			■	■	■	3		－	
	A16-003	住宅	一般	喜多方市	間接	民間	－	－	街なみ環境整備事業（小 田付地区）	住宅等修景補助事業	喜多方市			■	■	■	12		－	
											小計							108		
											合計						108			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	20	26	1	1	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	20	26	1	1	
前年度からの繰越額 (d)	1	20	5	0	
支払済額 (e)	1	41	6	1	
翌年度繰越額 (f)	20	5	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	1	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	4.76	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	暮らし続けられるまちづくり整備計画（小田付地区）（第二期）	交付団体	喜多方市
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）		

事業説明図

当該箇所

街なみ環境整備促進区域における現在の街なみ

まちなみ景観形成事業費補助金を活用した改修

整備計画のイメージ

整備前（現在の状況）

景観に配慮した道路の整備

整備後（イメージ）

事前評価チェックシート

計画の名称：暮らし続けられるまちづくり整備計画（小田付地区）（第二期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①関連する計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 ③計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○